

# NEWS 310

Vol.42 令和3年11月号

NEWS 310（ニュース サド）は佐渡観光交流機構の会員様向けニュースレターです。佐渡観光交流機構は、会員様はじめ佐渡の観光に関わる様々な方々の意見を尊重します。ご意見、ご感想をぜひお聞かせください。また、観光 PR のための写真画像、映像、イベント情報等がございましたらご提供いただけますと幸いです。佐渡観光交流機構を今後ともよりしくお願いいたします。

佐渡観光交流機構ホームページの「お知らせ」にて公開しております。（<https://sado-dmo.com/news/>）

## ◆10月の振り返りと今後の予定

いつも大変お世話になっております。10月後半から新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せ、ようやく個人以外のツアーも実施されるようになりました。このまま、感染拡大を抑え込みつつ経済の回復を目指したいところです。

さて、10月の初旬に佐渡にとってうれしいニュースが飛び込んできました。当機構で申請していた環境と観光の両立を目指す取り組みにより、**国際的な認証団体「グリーン・デスティネーション」からより良い観光地づくりに努力している地域として、佐渡市が世界のTOP100に選ばれました。**当機構としては、スタートラインに立ったと認識しています。今後も積極的に自然と共存できる観光地域づくりを進めてまいります。

また、10月29日には、佐渡が世界農業遺産に認定されてから10周年を記念する取り組みが佐渡市で行われました。当機構では、そのタイミングに合わせ**国の実証実験事業で開発したDXコンテンツ「SADO-SOUNDベンチャー」を開発・リリースしました。**

さらに、**11月11日からは国の実証事業を活用した相川地区の循環タクシーを無料で運行いたします。**ジャンボタクシーを3台運行し、エリア内なら乗り降り自由、20分に一本回ってくるようにし、観光のお客様と地域の皆さま双方にとって最適な地域交通のあり方を検証します。佐渡は、人口減少などすぐに解決できないような課題もありますが、アイデアやテクノロジーを駆使して暮らしやすく明るい未来を目指していくべきと考えています。（専務理事 祝）

## ◆ふるさと再発見の旅のアテンドを行いました

**今年で16回目を迎える「ふるさと再発見の旅」に10月1日～3日の2泊3日の行程で同行いたしました。**昨年は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりましたが、今年は30名の参加をいただき、相川と宿根木ふれあいガイドの案内により街歩きを中心に佐渡旅行をお楽しみいただきました。

1泊目のホテル万長では、渡辺佐渡市長によるふるさと再発見の旅ツアー最多参加者への感謝状を贈る表彰式が行われ、また、3日目にはオプションツアーとして募集した**「順徳上皇ご遷幸800年記念式典」に22名ご参加いただき、首都圏佐渡連合会からの多数の参加で記念式典も盛大に行われました。**（旅行事業部部長 中林）

## ◆オンラインツアーを開催しました

10月9日、当機構スタッフと野草研究家・菊池はるみ様、株式会社ゴールデン佐渡の名畑 翔様をゲストに迎え、佐渡の魅力をしゃべり倒す、初のオンラインツアーを開催しました。

佐渡の野草を使ったクラフトコーラ作り、佐渡金山の歴史や魅力をトークでは、カステラサンドを使ったわかりやすい道遊の割戸の解説など、全国からのオンライン参加者 34 名様ともチャットでつながりながら、終始笑いが絶えないツアーとなりました。（旅行事業部 鈴木）

## ◆ 芸能の宝島 佐渡を開催しました

太鼓芸能集団 鼓童と佐渡芸能のコラボレーションイベント、芸能の宝島佐渡を 2 年ぶりに開催いたしました。今回より会場をあいぽーと佐渡へ変更し、より臨場感を楽しんでいただけるようになりました。ご来場いただいたお客様にも佐渡芸能などを至近距離で体感していただい、好評を得ました。入場者数の制限や換気等も行い、コロナ対策に万全を期し開催できたことは今後のイベント運営にも良い経験になりました。（旅行事業部 宮本）

## ◆ GIAHS10 周年を記念した DX コンテンツ「SADO-SOUND ベンチャー」リリースしました

佐渡観光交流機構は令和 3 年度事業で観光庁から採択された「GIAHS 世界農業遺産から培った佐渡の食文化（酒・食）DX 化事業」における取り組みとして、株式会社フェザンレーヴと協力し、ソニー株式会社（以下ソニー）の Sound AR™アプリケーション「Locatone™（ロケトーン）」を活用した音声ガイド AR コンテンツ「SADO SOUND ベンチャー」をリリースしました。

この Sound AR コンテンツでは、アイドルグループ「櫻坂 46」のセンターをつとめる森田ひかるさんがナビゲーターとして声で出演。世界農業遺産（GIAHS）認定された佐渡にまつわる魅力的な「人」にフォーカスしながら、世界農業遺産（GIAHS）と関連性の高い「聖地」を楽しみながら巡ることができます。

本企画は観光 DX を具現化し、コロナ禍においても密を避けられるソーシャルディスタンスを担保可能な企画として、今後の佐渡市における新たな旅〜アドベンチャーツーリズムの可能性を探る実証実験としての意義も兼ね備えています。2 月 28 日まで無料で使用できますので、ぜひお客様やご家族、ご友人の方へご紹介いただけますと幸いです。（マーケティング事業部 佐藤）

## ◆ はじめてのサドタビを開催しました

昨年、新潟交通佐渡タクシー事業部と共同で始めた「佐渡の高校生に佐渡観光をプレゼント“はじめてのサドタビ”」ほとんどの高校生が、卒業後、進学や就職でこの佐渡島を離れていく状況を逆手に取り、今のうちにたくさんの佐渡の魅力を知ってもらい、新しい土地で佐渡の宣伝マンとして佐渡の魅力を語ってほしい、という狙いがあります。今年度から、トキめき佐渡にいがた観光圏の人材育成事業にて実施することとなり、去る 10 月 17 日、新潟県立佐渡総合高等学校の生徒 7 名と、新潟大学の学生 9 名によるサドタビツアーを実施しました。実際のコース造成には高校生も関わり、宿根木はんぎり職人金子さんのはんぎりづくりのお手伝いやはんぎり体験、斎藤農園斎藤さんから学ぶ持続可能な農業とりんご園見学、佐渡バンブークラブと竹林で竹の飯盒・筍ごはんづくりなど、SDGs を軸にして、「人」、「自然」、「文化」、を巡る 3 つのツアーをつくりました。学生たちはそれぞれ希望のコースに分かれてジャンボタクシーに乗り込み、約 7 時間のサドタビを楽しみました。「はんぎりの工房見学など、このツアーでしかできない体験ができたことで満足感がとてもありました」「自分達でご飯を作るだけでなく、竹で容器を作ったり、スプーンを作ったりととても貴重な体験ができ楽しかった」など、学生たちから様々な反響がありました。冬期には、全ての島内高校生を対象にサドタビツアーを行って参ります。今後、佐渡、新潟間で、学生が考えた観光ツアーがお互いの地域を知り交流を図るツールとして活用されていくことができるのではと思っています。（マーケティング事業部 斎藤）

一般社団法人 佐渡観光交流機構 〒952-0011 新潟県佐渡市両津夷 384-11

TEL : 0259-23-5230 FAX : 0259-23-5232 <https://www.visitsado.com/> Facebook twitter